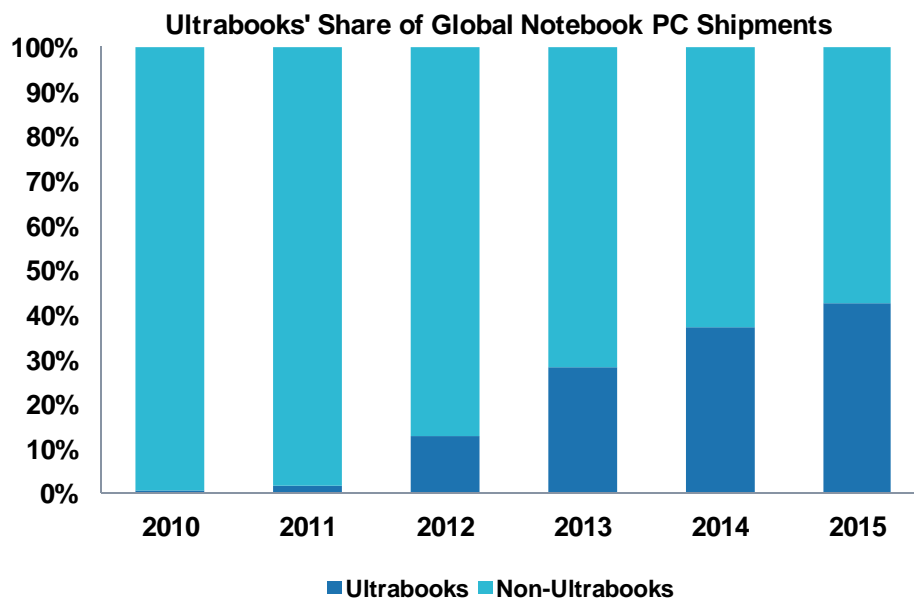


軽量極薄の Ultrabooks が今後急速に成長

アイサプライ・ジャパン株式会社（東京都中央区京橋、代表取締役社長：ティム・ワン；Tim Wang）は、11月14日「軽量極薄の Ultrabooks が今後急速に成長」を発表した。



Source: IHS iSuppli November 2011

IHS iSuppli によると、増加するメディアタブレットの脅威に対して、モバイル PC 市場は新たに Ultrabooks プラットフォームを大々的に推進しており、その出荷数は 2015 年までにノート PC 市場全体の 40%以上になることが期待されている。

Ultrabooks がノート PC 全出荷数に占める割合は 2011 年で 2%、2012 年には 13%に、そして 2015 年には 43%を占める見通した。2011 年に初めて出荷された Ultrabooks は急速に普及していき、2013 年には全体の 28%、2014 年には 38%を占める。

「メディアタブレットに対抗するためには、ノート PC はより魅力的でよりコンシューマのニーズに訴える製品でなくてはならない」と IHS のコンピューティングプラットフォーム分野の主幹アナリスト Matthew Wilkins は語る。「メディアタブレットは netbook 市場を置き換えながら拡大していることを、PC メーカーはしっかりと認識して市場の成長を維持させるような進化を見せなければならない。Ultrabooks では、メディアタブレットのフォームファクタやユーザインターフェースの利点を生かしながらノート PC としての魅力も高める必要がある。

メディアタブレットはノート PC 市場を置き換えるものではないが、その成長を鈍化させている。主に Apple の iPad によって、メディアタブレット市場は今後数年間急成長し、世界市場での出荷数は 2011 年から 2015 年の年次平均成長率 (CAGR) で 42%以上となる見通した。一方ノート PC 市場は成熟段階に入り、同じ期間の年次成長率は 10%程度にとどまるだろう。

Ultrabooks とは

Ultrabooks は極めて軽量で厚みが 0.8 インチ以下の薄型ノート PC として定義されている。Ultrabooks は Microsoft Windows のような完全な PC の OS を採用しており、さらに今メディアタブレット製品に共通して搭載されているインスタント・オン起動、常時接続のワイヤレスリンク、SSD、また一度の充電で 8 時間以上のバッテリーライフを持つ。早期モデルはもっと高価であるが、Ultrabooks は 1000 ドル以下の価格帯をターゲットとしている。

Ultrabooks は将来的にはユーザが使用目的によってノート PC またはタブレットとして活用できるようなフォームファクタとタッチスクリーンを搭載すると思われる。

初期のターゲット市場はコンシューマ向けである。しかし、PC メーカーは企業ユーザを想定したモデルの開発も始めるだろう。

Intel の強力なサポート

複数の企業が Ultrabooks を促進しているが、最も強いサポートは PC マイクロプロセッサ大手の Intel である。Intel は今年春の Computex Taipei 2011 の発表に続き、9 月の Intel Developer Forum でプラットフォームのコンセプトを紹介した。

Intel の Ultrabooks の未来図には同社の第 2 世代コアマイクロプロセッサと Microsoft から出てくる Windows 8 OS の採用を含んでいる。Intel によると、初の Intel スタイルの Ultrabooks は今年のクリスマスシーズンに出荷される予定であるが、Acer や Austek を含む幾つかの PC メーカーは既に製品を販売している。

Intel Developer Forum で Intel は、2012 年に発売される次世代の Ultrabooks には同社の第 3 世代コアマイクロプロセッサの Ivy Bridge がベースになると予告した。

新たな成長へ向けての変化ポイント

Intel が Ultrabooks を推進するのはメディアタブレットの販売が急速に伸びたことへの反応と見られる一方、同社の活動がエレクトロニクスサプライチェーンを再び活性化させるかもしれない。

「Ultrabooks の発表で、コンピューティング業界は、新たなパラダイムシフトへの準備段階に来たといえる」IHS の半導体製造分野に関するリサーチディレクターでアナリストの Len Jelinek は語る。「今の技術は主要なモバイル機器の融合をもたらす可能性がある。もし魅力的な価格設定が出来、コンシューマが絶対に必要な製品だと思えば、半導体製造のサプライチェーン全体が、Ultrabooks 市場に合わせて速やかに再構築される可能性がある。」

Jelinek は、これが起これば現在の半導体や機器の製造業界における低迷が終結するだろうと预言する。

「Ultrabooks 時代には、技術に対する需要は数社に限られているものではないはずだ。」Jelinek はいう。

「Ultrabooks には広範囲な部品が必要となり、メモリ、ロジック、やパワーマネジメントなどに注力しているメーカーの全てが新たな需要の再構築に参加するようになる。」

高い成長が見込まれる分野のひとつにフラッシュメモリがある。ノート PC で共通して使用されるハードディスクドライブが SSD (Solid State Drive) に移行すると、チップの平均販売価格を安定化させつつフラッシュメモリ数量に対する需要を増加させる。そのベネフィットはチップメーカーだけに限定されるものではなく、バッテリーサプライヤや電子機器製造委託メーカーのようなサプライチェーンにかかわる他のプレイヤーにもプラスのインパクトを与える。

英語原文は、[下記 URL をご覧下さい。](#)

<http://www.isuppli.com/Home-and-Consumer-Electronics/News/Pages/Ultrabooks-to-Deliver-Ultrafast-Growth.aspx>

関連情報は下記 URL を御覧下さい

<http://www.isuppli.com/Home-and-Consumer-Electronics/Pages/Headlines.aspx>

このプレスリリースに関するお問い合わせは下記へお願いします。

アイサプライ・ジャパン株式会社

〒104-0031

東京都中央区京橋 2 - 7 - 14 ビュレックス京橋 2 階

TEL: 03-3562-1580 FAX: 03-3562-1582

URL: <http://www.isuppli.co.jp>

IHS iSuppli Japan 広報部 e-mail : market.info@isuppli.co.jp

iSuppli Corporation

Jonathan Cassell, editorial director and manager of IHS iSuppli,

+1-408-654-1714, jcassell@isuppli.com

<http://www.isuppli.com/>

IHS iSuppli について

弊社は 2010 年 11 月 19 日に IHS のメンバーとして IHS 傘下に入りました。今後は IHS iSuppli の表記で情報のご提供をさせていただきます。

iSuppli としてのサービス内容と弊社内の体制に変化はございませんが、今後 IHS のメンバーとしてお客様への更なるサービス向上に努めて参ります。

IHS はエネルギー、セキュリティ、デザイン & サプライチェーン (プロダクトサイクル)、環境の 4 つのビジネス領域での情報と洞察 (インサイト) を提供しているグローバルな調査会社です。

IHS につきましては、<http://www.ihs.com/> を御覧下さい。

IHS iSuppli は、電子部品とディスプレイ産業情報のグローバル・リーダーである。

ストラテジック・コンサルティングを目指すハイテク・リサーチ・リーディングカンパニーとして 1999 年に設立。

一貫して最高レベルの経験豊富なエキスパートを採用しており、世界中の主要エレクトロニクス関連企業のほとんどにサービスを提供している。

スタッフには大手部品サプライヤ、EMS、OEM の CEO 経験者や資材調達責任者、技術部門、マーケティング部門のリーダーなどの業界経験者に加え、

著名な産業アナリストも含まれる。グローバルなエレクトロニクス市場からいかにして利益を得るかに関する情報、分析結果、およびアドバイスの

卓越したプロバイダ-として急成長している。IHS iSuppli 社についての詳細な情報はホームページ <http://www.isuppli.com/> で公開している。